

特許改革法案 2011(米国発明法案)、上院本会議での審議開始
～初めてとなる上院本会議審議、早期通過に期待～

2011年2月28日
JETRO NY 中楨、横田

本日午後、先に上院司法委員会を通過した¹特許改革法案2011(米国発明法案²:S23)の上院本会議での審議が開始された。先発明主義から先願主義への移行を柱とする包括的な特許改革法案が上院本会議で審議されたのは、05年に同法案が議会へ上程されてから6年を経て初めてのこととなる³。

本日の本会議では、パトリック・レーヒ上院司法委員長(民、バーモント)を始め、オリン・ハッチ議員(共、ユタ)、チャック・グラスリー上院司法委員ランキン委員(共、アイオワ)等の特許改革に積極的な議員によるステートメントが主となり、実質的な審議・投票はされなかった。同議員らは、揃って同法案がイノベーション促進や雇用創出に重要であり迅速な成立が必要であること、同法案が超党派法案であること等を訴え、上院本会議通過へ向けての上院議員の協力を求めている。他方、他の複数の議員からは修正案の提出とその説明がなされ(及び提出の意図が示され)、明日以降も審議が継続されることとなった。

レーヒ上院司法委員長は、本日の本会議審議に伴うプレス発表を行うとともに⁴、同本会議での演説(opening remarks)原稿を公表⁵。同発表及びスピーチによれば、特許料金の支出に係る修正案⁶、及び先願主義への移行に反対する議員らによる修正案の提出が見込まれているとし⁷、また、修正案を提出する意図のある議員は早急に修正案を提出するよう要請をしている⁸。

¹ [110203【米国 IP 情報】特許改革法案 2011\(S23\)、上院司法委員会を通過](#) (PDF) 参照

² 本日の本会議によれば、同法案は「American Invents Act」と名付けられた模様。

³ 同法案は、プレジデント・デーに伴う上院休会(2月21-27日)明けの本日の本会議の審議議題として登録されていた。

⁴ [レーヒ委員長によるプレスリリース\(2月28日付\)](#)

⁵ [レーヒ委員長による本会議での演説原稿](#)

⁶ いわゆる料金ダイバージョンを廃止する修正案。

⁷ 知財系ブログである「IP Watchdog」の2月27日付記事によれば、先願主義への移行を阻む修正案は、ファインスタイン議員(民、カリフォルニア)が提出する予定であり、これにはハリー・リード上院多数党院内総務(民、ネバダ)がサポートしているとの情報もあり、同修正案の動向が注目される。[IP Watchdog2月27日付記事](#)参照

⁸ その他、小規模事業者(small entity)・極小規模事業者(micro entity)に係る修正案や今後3年間で3つのUSPTO支局(サテライトオフィス)を開設する修正案等が説明されている。

上院本会議通過の見通しは現時点で不明であるものの、前掲レーヒ委員長のスピーチによれば、議会は他の重要案件を抱えており⁹、今週の水曜日(3月2日)までに通過させることを望んでいるとのことであり、複数提出された同法案の修正案を巡る動向が注目される。

(了)

⁹ 3月4日で期限が切れる政府の暫定予算を巡る議会審議のこと。